



しなやか先端技術企業

環境にやさしいテクノロジーで未来を創造

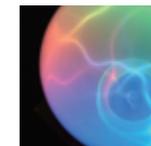
事業フィールド



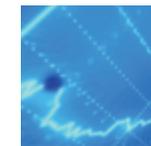
ハードディスク



精密熱処理



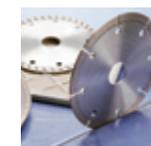
液晶



工業用計器・制御通信



半導体



精密切断



太陽電池



レーザープロセス



ライティング



クリーニング

第43期

ビジネスレポート

平成26年4月1日～平成27年3月31日



代表取締役社長
百瀬 武文

株主の皆様には、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。ここに『第43期ビジネスレポート』をお届けいたします。

当期(平成26年4月1日から平成27年3月31日まで)の世界経済は、下振れリスクを抱えつつも総じて緩やかな成長基調にあり、日本経済はアベノミクス効果により景気回復の兆しが表れはじめた状況で推移しました。このような状況のもと当社グループは、成長を続ける中国、アジア地域を中心に事業展開を図り、顧客のニーズを捉えた付加価値の高い装置の開発、販売に努めてまいりました。

その結果、当期連結業績は、売上高166億22百万円、経常利益9億66百万円を計上し、前年同期比増収増益となりました。

当期の期末配当金は1株につき10円とし、中間配当金の10円とあわせまして年間20円とさせていただきます。株主の皆様への利益還元を経営上の重要なテーマのひとつと位置づけ、業績や事業計画などを総合的に勘案し、安定的な配当を継続することを基本方針としております。引き続き競

争力の強化に努め、株主の皆様への利益の拡大に努めてまいります。

当社グループは、「より多く社会に貢献する」を目的・使命として、「規模の拡大」・「高収益体質の確立」を事業活動の指針に掲げ、経営者と社員が一丸となって挑戦し続けております。当社はM&Aによる規模の拡大を積極的に推進しておりますが、ここ数年内にグループ会社化した株式会社ワイエイシデンコー、大倉電気株式会社、株式会社ワイエイシダステック、ワイエイシイフェトン株式会社が、それぞれ当期連結業績に貢献しております。また、新たに参入した高輝度LED照明事業では、省電力、脱水銀の波をとらえ、スタジアムや大型施設を中心として販売の拡大を図ってまいります。今後もM&A・アライアンスに積極的に取り組み、更なる経営基盤の拡充を進めてまいります。

これからも引き続きご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成27年6月

さあ今日も、
ときめきと感動の日々であれ！

創業理念

- 1.技術集約会社
- 2.旺盛なバイタリティー
- 3.リスクに果敢にチャレンジする
- 4.少数精鋭主義

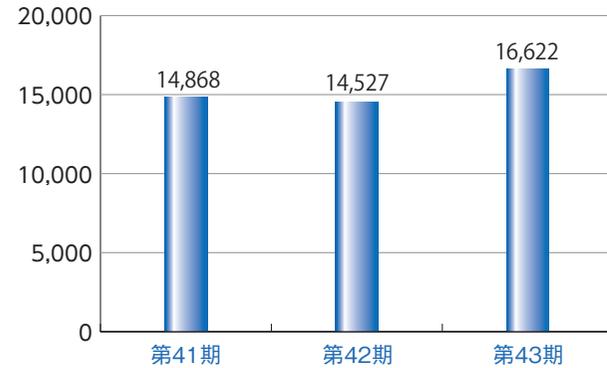
成長理念

- 1.社員の豊かさを追求する(経済的、精神的)
- 2.国・地方自治体により多く納税する
- 3.新製品の創造・提供
- 4.地域社会への貢献
- 5.株主を優遇する
- 6.環境保全のため省資源・省エネルギーを図る

	第41期	第42期	第43期
売上高	14,868百万円	14,527百万円	16,622百万円
経常利益	309百万円	546百万円	966百万円
当期純利益	191百万円	2,229百万円	639百万円
1株当たり純資産額	1,220.96円	1,459.87円	1,521.09円
自己資本比率	50.9%	57.6%	54.9%
配当金	20円	20円	20円

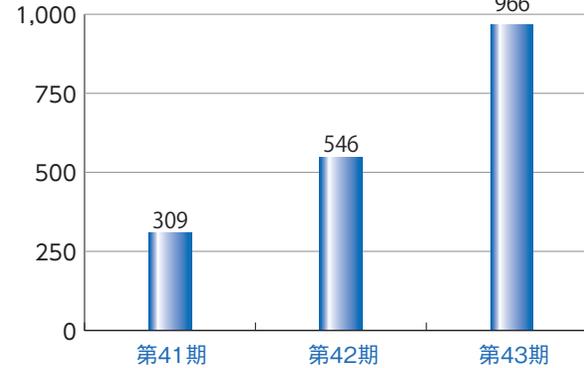
売上高

(単位:百万円)



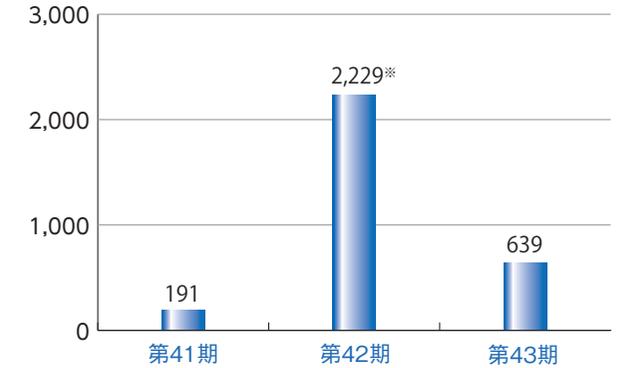
経常利益

(単位:百万円)



当期純利益

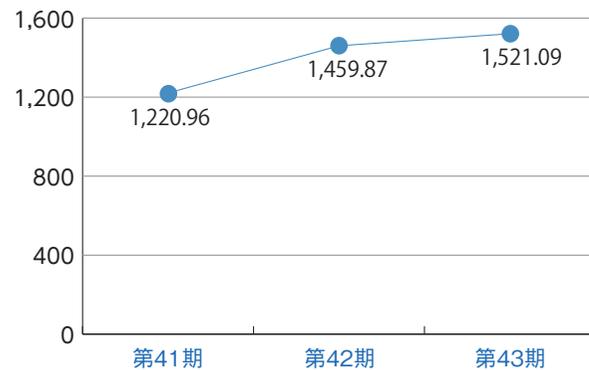
(単位:百万円)



*第42期は当社グループ拡大に伴う負ののれん発生益1,862百万円を計上しております。

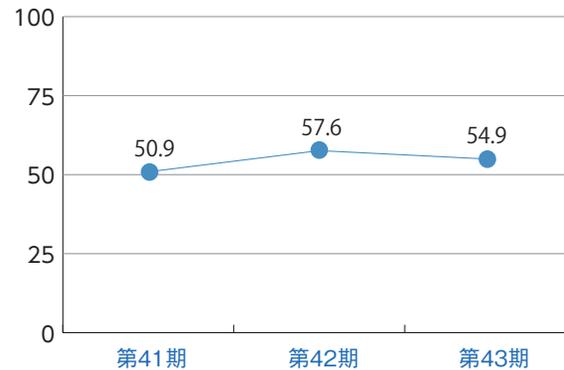
1株当たり純資産額

(単位:円)



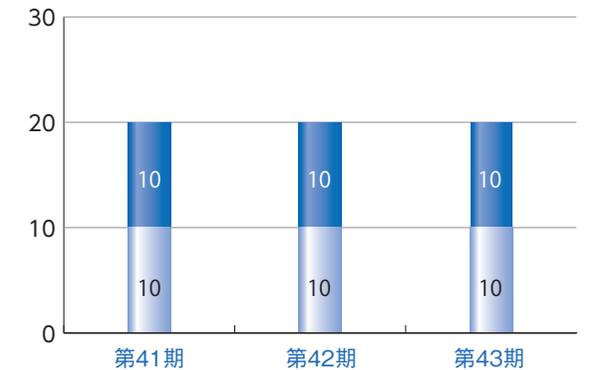
自己資本比率

(単位:%)



配当金

■ 中間 ■ 通期 (単位:円)



事業概況

当連結会計年度(平成26年4月1日から平成27年3月31日まで)における世界経済は、米国では企業業績の回復、個人消費の増加、雇用情勢の改善などを背景に堅調な成長が続きました。一方、欧州経済の停滞や、中国をはじめとする新興国の成長鈍化が依然としてリスク要因となっていることから、全般的に先行き不透明な状況で推移しました。

日本経済においては、消費税率引き上げによる個人消費の低迷や円安による原材料高の影響はあるものの、政府の経済政策を背景とした企業収益や雇用情勢の改善が見られ、緩やかな回復基調で推移しました。

このような経済状況のもとで、当社グループは、中国及びアジア地域を中心とした成長に伴うニーズを捉えた装置の開発と市場化に努めてまいりました。

この結果、当連結会計年度の業績は、売上高166億22百万円(前連結会計年度比14.4%増)、営業利益7億87百万円

(同84.2%増)、経常利益9億66百万円(同76.8%増)、当期純利益6億39百万円(同71.3%減)となりました。尚、当期純利益が前連結会計年度比大幅減となった要因は、前連結会計年度におきまして当社グループ拡大に伴う負ののれん発生益18億62百万円を計上していたためであります。

経営の現状と次期見通し

今後の見通しにつきましては、円安による原材料やエネルギーコストの上昇等のマイナス要因はあるものの、政府による積極的な景気浮揚策の効果が徐々に好循環を生みつつあり、景気は緩やかながらも回復基調にあります。

このような事業環境のもと、当社グループにおきましては「規模拡大と高収益企業文化の構築」の実現をめざしてまいります。従来からの主力であるスマートフォンやタッチパネル、カバーガラスに用いら

れる液晶関連、電力の制御通信システム、車載用に用いられるパワー半導体関連等における製品群の充実化・拡充を図ります。新たに参入した高輝度LED照明分野においては、業界唯一の単一光源方式という特性を生かし、スタジアムや大型施設を中心として販売の拡大を図ってまいります。

当社グループは、アジア市場へ積極的に展開し、顧客のニーズをとらえた高付加価値な装置の開発や販売に努め、受注の獲得・収益の増大を図る所存であります。

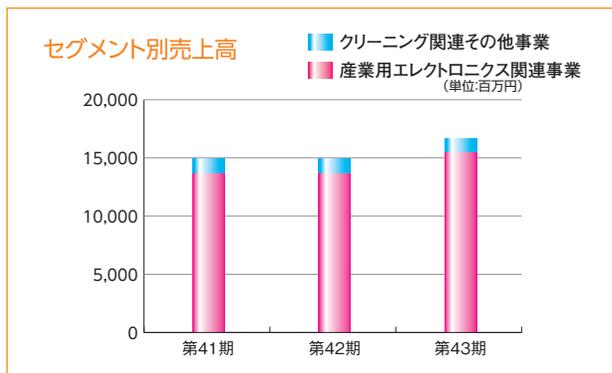
次期の業績は、連結ベースで売上高235億円、営業利益12億円、経常利益12億50百万円、当期純利益7億50百万円を予想しております。

尚、当社は4月1日付で組織変更を実施いたしました。これに伴い、セグメントの見直しを行っております。

セグメント別の状況

産業用エレクトロニクス関連事業

ハードディスク関連装置分野では、HDD搭載パソコンの販売は低迷しましたが、高記録密度製品に対応した新型パーニッシュ装置が好調に推移し、また当期に取得した連結子会



社の寄与もあり、業績は回復基調となりました。

半導体関連装置分野では、電装化の進展による車載向け需要を取り込んだものの、継続的な設備投資に結びつかず、業績は軟調に推移しました。

液晶関連装置分野では、スマートフォンやタブレット端末用の中国向け需要を取り込んだことにより、設備投資時期による変動はあるものの、業績は底堅く推移しました。

精密熱処理装置分野では、スマートフォンやタブレット端末向け装置が引き続き順調な状況に加え、自動車関連向け装置の需要もあり、業績は順調に推移しました。

太陽電池関連装置分野では、設備投資が低調となり、業績は軟調に推移しました。

工業計器及び制御通信システム分野では、エネルギー事業の規制緩和の進展から、安定した設備投資需要に支えられ、業績は好調に推移しました。

これらの結果、産業用エレクトロニクス関連事業の売上高は152億64百万円(前連結会計年度比16.5%増)、セグメント利益は10億89百万円(同41.5%増)となりました。

クリーニング関連その他事業

中国・欧州を中心とした海外営業展開の強化を図りましたが、国内需要の減少傾向が続く厳しい状況であり、減収となりました。

これらの結果、クリーニング関連その他事業の売上高は13億58百万円(前連結会計年度比4.7%減)、セグメント利益は2億30百万円(同34.4%増)となりました。

連結貸借対照表

(単位:百万円)

科目	当期 平成27年3月31日現在	前期 平成26年3月31日現在
【資産の部】		
1 流動資産	19,504	16,792
固定資産	5,202	5,795
有形固定資産	4,255	4,227
無形固定資産	363	125
投資その他の資産	584	1,443
資産合計	24,707	22,587
【負債の部】		
2 流動負債	6,977	5,122
固定負債	3,962	4,273
負債合計	10,939	9,396
【純資産の部】		
株主資本	13,531	13,070
その他の包括利益累計額	35	△49
新株予約権	23	9
少数株主持分	177	160
3 純資産合計	13,767	13,191
負債純資産合計	24,707	22,587

連結損益計算書

(単位:百万円)

科目	当期 自平成26年4月1日 至平成27年3月31日	前期 自平成25年4月1日 至平成26年3月31日
売上高	16,622	14,527
売上原価	12,450	11,595
販売費及び一般管理費	3,385	2,503
営業利益	787	427
営業外収益	323	156
営業外費用	143	37
経常利益	966	546
特別利益	2	1,862
特別損失	6	1
税金等調整前当期純利益	962	2,408
法人税等	307	175
少数株主損益調整前当期純利益	655	2,232
少数株主利益	16	2
当期純利益	639	2,229

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科目	当期 自平成26年4月1日 至平成27年3月31日	前期 自平成25年4月1日 至平成26年3月31日
4 営業活動によるキャッシュ・フロー	△1,106	△527
投資活動によるキャッシュ・フロー	686	△379
財務活動によるキャッシュ・フロー	502	△177
現金及び現金同等物に係る換算差額	76	129
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	159	△955
現金及び現金同等物の期首残高	7,806	8,761
現金及び現金同等物の期末残高	7,966	7,806

POINT 1 流動資産

当連結会計年度末における流動資産は、195億4千万円となり、前連結会計年度末に比べ27億12百万円増加しました。主な増加は、受取手形及び売掛金14億3百万円、有価証券9億51百万円、仕掛品6億96百万円で、主な減少は、現金及び預金7億14百万円です。

POINT 2 流動負債

当連結会計年度末における流動負債は、69億77百万円となり、前連結会計年度末に比べ18億54百万円増加しました。主な増加は、1年内償還予定の社債7億円、短期借入金4億87百万円、支払手形及び買掛金4億25百万円です。

POINT 3 純資産

当連結会計年度末における純資産は、137億67百万円となり、前連結会計年度末に比べ5億76百万円増加しました。主な増加は、利益剰余金4億61百万円です。その結果、自己資本比率は54.9%(前連結会計年度末は57.6%)となりました。

POINT 4 営業活動によるキャッシュ・フロー

当連結会計年度末における営業活動による資金は、11億6百万円の減少(前連結会計年度は5億27百万円の減少)となりました。主な増加要因は、税金等調整前当期純利益9億62百万円、仕入債務の増加3億45百万円、減価償却費3億29百万円で、主な減少要因は、売上債権の増加13億20百万円、たな卸資産の増加5億70百万円、前受金の減少3億20百万円、未収消費税等の増加2億3百万円です。

次世代大型LED照明(Lightning J)の生産開始

交和電気産業株式会社との事業提携により、次世代光源Lightning J(大光量大型LED照明)を提供いたします。

これまでの大型LED照明においてはLEDパッケージを並べているため、光が直線的で広がらず、発光ムラが発生する・目に対する刺激が強いといった問題がありました。

当社のLightning Jは世界初となる単一面発光を有したLEDパッケージを搭載しているため、大面積を均一に明るく照らすことができます。また、演色性が高い光源を用意しており、光で魅せる分野での導入が進んでいます。



主要用途

屋内照明



屋内照明用としては、体育館や工場などに導入実績を持ちます。特に単一面発光により発光の広がりが良く、他商品に比べ導入台数が少なく済むためコスト削減になるといった利点も兼ね備えています。

屋外照明



屋外照明用としてIP67(防水規格)の耐性を有しており、グラウンド・競艇場などへ導入されています。単一面光源のため同一パワーでも発光の分散性が高く、目に優しい光となっています。

特殊用途

集魚灯



特殊用途として、魚を集める光(集魚灯)の提供を始めています。集魚灯では魚が集まる光(スペクトル)に絞った光源としており、効率良く魚を集めることができます。

人工太陽



太陽光の補光として、ランプの発光波長を調整することで野菜・果物が成長する過程で必要な光を照射します。日照時間が短い場所・期間などでも効率良く栽培でき、大型照明であるため少ない台数で大きな栽培面積を照射することが可能です。

ワイエイシイグループは本体4事業部と国内8社、海外6社の関係会社で構成され、幅広く10の事業フィールドに展開しております。

ワイエイシイグループ

ワイエイシイ(株)

メカトロニクス事業部

ライティング事業部

ディスプレイ事業部

クリーニング事業部

関係会社(国内)

(株)ワイエイシイデンコー
(東京都青梅市)

大倉電気(株)
(埼玉県坂戸市)

ワイエイシイ新潟精機(株)
(新潟県妙高市)

(株)ワイエイシイダステック
(埼玉県戸田市)

ワイエイシイフェトン(株)
(神奈川県厚木市)

YAC国際電熱(株)
(東京都昭島市)

(株)NDマテリアル
(高知県高知市)

交和電気産業(株)
(鹿児島県出水市)

関係会社(海外)

HYAC Corporation
(米国カリフォルニア州)

YAC Systems Singapore Pte Ltd
(シンガポール)

YAC Korea Co., Ltd
(韓国城南市)

瓦愛新(上海)国際貿易有限公司
(中国上海市)

紹興微愛新電子設備有限公司
(中国紹興市)

日商 微艾新(股)台湾分公司
(台湾新竹市)

会社概要

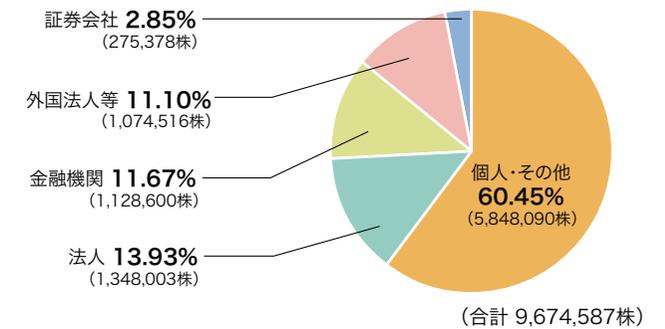
商号 ワイエシイ株式会社
 英文表示 Y.A.C.CO.,LTD.
 本社 東京都昭島市武蔵野三丁目11番10号
 設立 昭和48年5月11日
 資本金 2,756百万円
 従業員数 195名 (連結466名)
 (出向社員・契約社員等の臨時雇用者含まず)

株式の状況

会社が発行する株式の総数 34,388,000株
 発行済株式の総数 9,674,587株
 当期末現在の株主数 4,803名
 個人・その他※ 4,659名 5,848,090株
 法人 36名 1,348,003株
 金融機関 23名 1,128,600株
 証券会社 35名 275,378株
 外国法人等 50名 1,074,516株

※自己株式を含みます。

所有株式数分布状況



役員・執行役員 (平成27年6月26日現在)

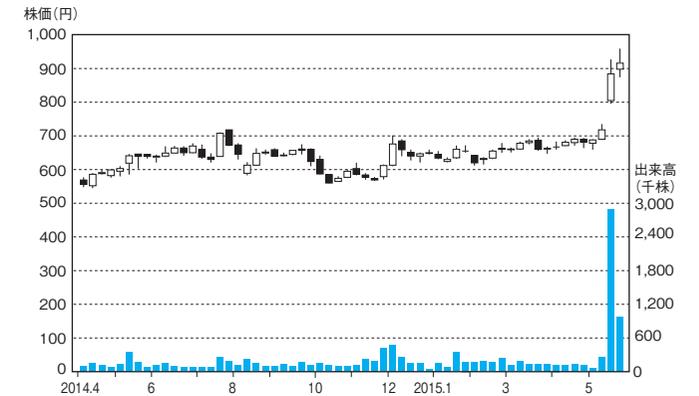
代表取締役社長 百瀬 武文
 常務取締役執行役員 佐藤 康男
 常務取締役執行役員 伊藤 利彦
 取締役執行役員 大福 芳弘
 取締役執行役員 副島 幸雄
 取締役執行役員 寺本 和政
 取締役 石田 祥二 ※社外取締役
 常勤監査役 東田 明
 監査役 勝間田 武司 ※社外監査役
 監査役 高田 直規 ※社外監査役
 執行役員 西原 宗久
 執行役員 曾根田 栄悦
 執行役員 野口 武史
 執行役員 村野 恒利

大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
株式会社モトタケ	1,220	12.61
BBH FOR FIDELITY LOW-PRICED STOCK FUND (PRINCIPAL ALL SECTOR SUBPORTFOLIO)	440	4.55
百瀬 武文	280	2.89
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	203	2.10
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	157	1.62
CGML PB CLIENT ACCOUNT/COLLATERAL	148	1.53
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口5)	88	0.91
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口6)	88	0.91
BNY GCM CLIENT ACCOUNT JPRD AC ISG (FE-AC)	86	0.89
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口3)	86	0.89

※当社は、自己株式を755,397株保有しておりますが、大株主からは除外しております。

株価・株式売買高の推移(週足)



株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日	同 連 絡 先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
期末配当金受領株主確定日	3月31日		〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号
中間配当金受領株主確定日	9月30日		TEL 0120-232-7111 (通話料無料)
定時株主総会	毎年6月	上 場 証 券 取 引 所	東京証券取引所
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社	公 告 の 方 法	電子公告により行います
特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社		公告掲載URL http://www.yac.co.jp/

(ただし、電子公告によることが出来ない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。)

(ご注意)

- 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に登録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にでもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

ホームページのご紹介

株主・個人投資家の方々に対しての
当社の状況をわかりやすく伝えたコンテンツを
提供しております。

<http://www.yac.co.jp/>

または、**ワイエイシイ** **検索** で検索ください。



 **ワイエイシイ株式会社**

〒196-0021 東京都昭島市武蔵野3-11-10
TEL:(042)546-1161(代表) FAX:(042)546-1107
URL <http://www.yac.co.jp>